

第2章 市民アンケート結果（抜粋）

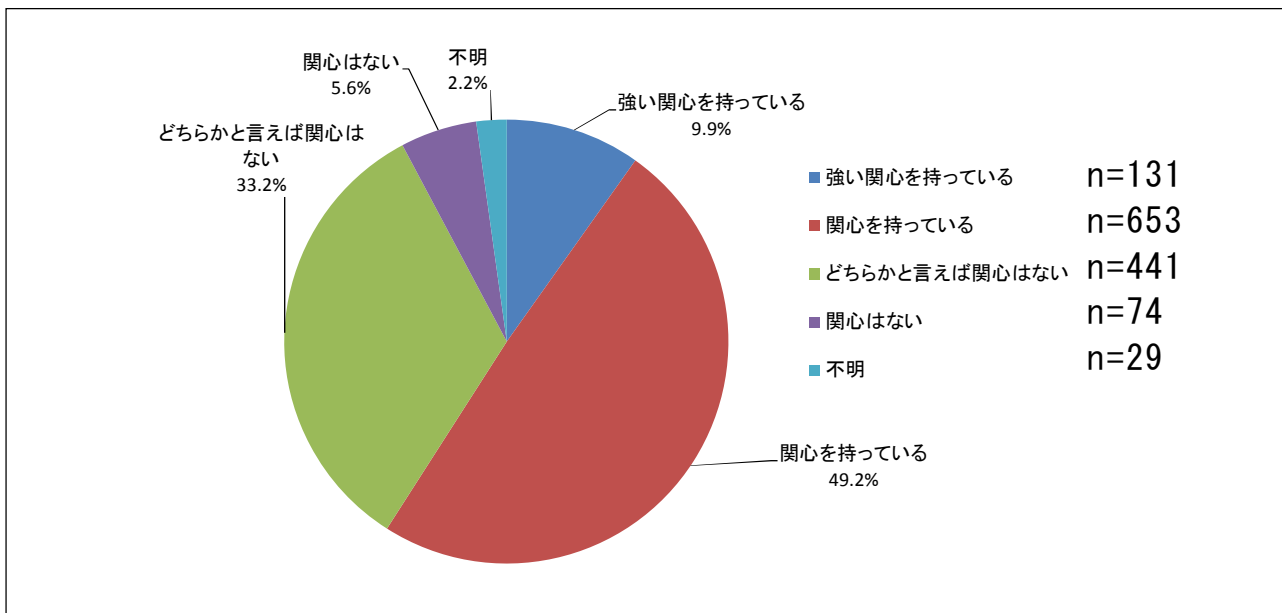
第2章 市民アンケート結果（抜粋）

- ・本方針を策定するにあたり、市民の公共施設の利用状況や公共施設に対する意識などを確認するため、市民アンケートを実施しました。その一部をご紹介します。

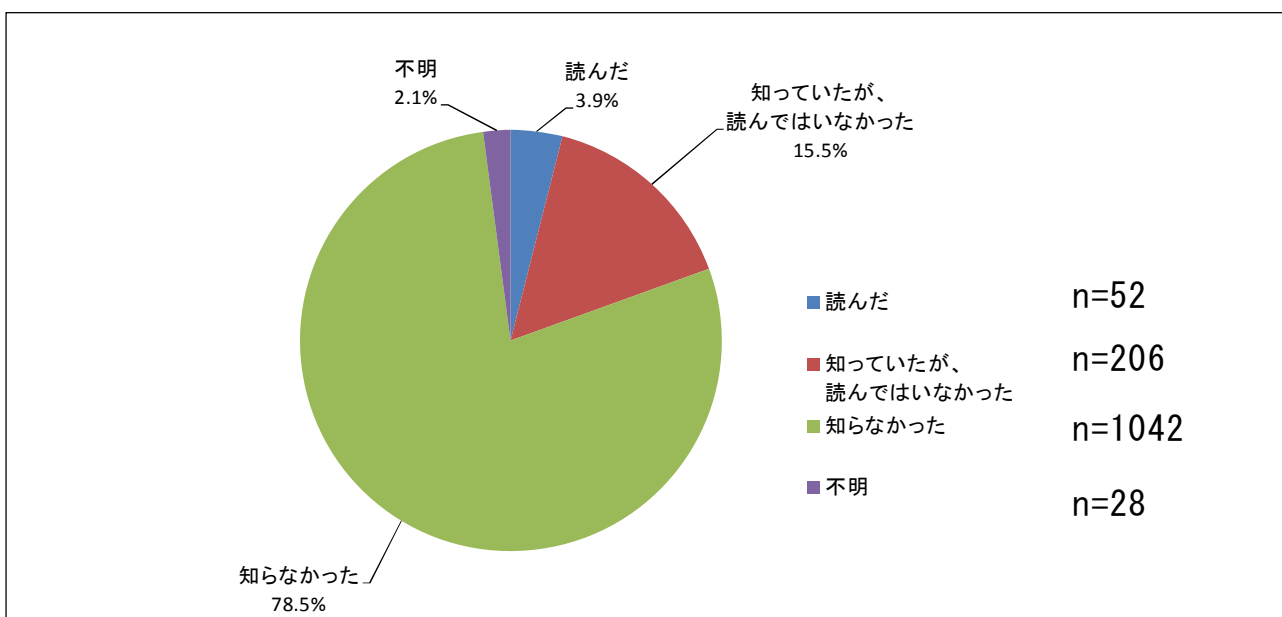
○実施方式

調査期間 : 平成25年11月21日（木）から平成25年12月20日（金）
 調査対象 : 平成25年9月30日現在、18歳以上の松江市民3,000人
 （住民基本台帳から無作為抽出）
 実施方法 : 郵送法による無記名アンケート調査方式
 有効回収数 : 1,328件（有効回収率44.3%）

【市の公共施設の現状と課題について、あなたはどのくらい関心をお持ちですか？】



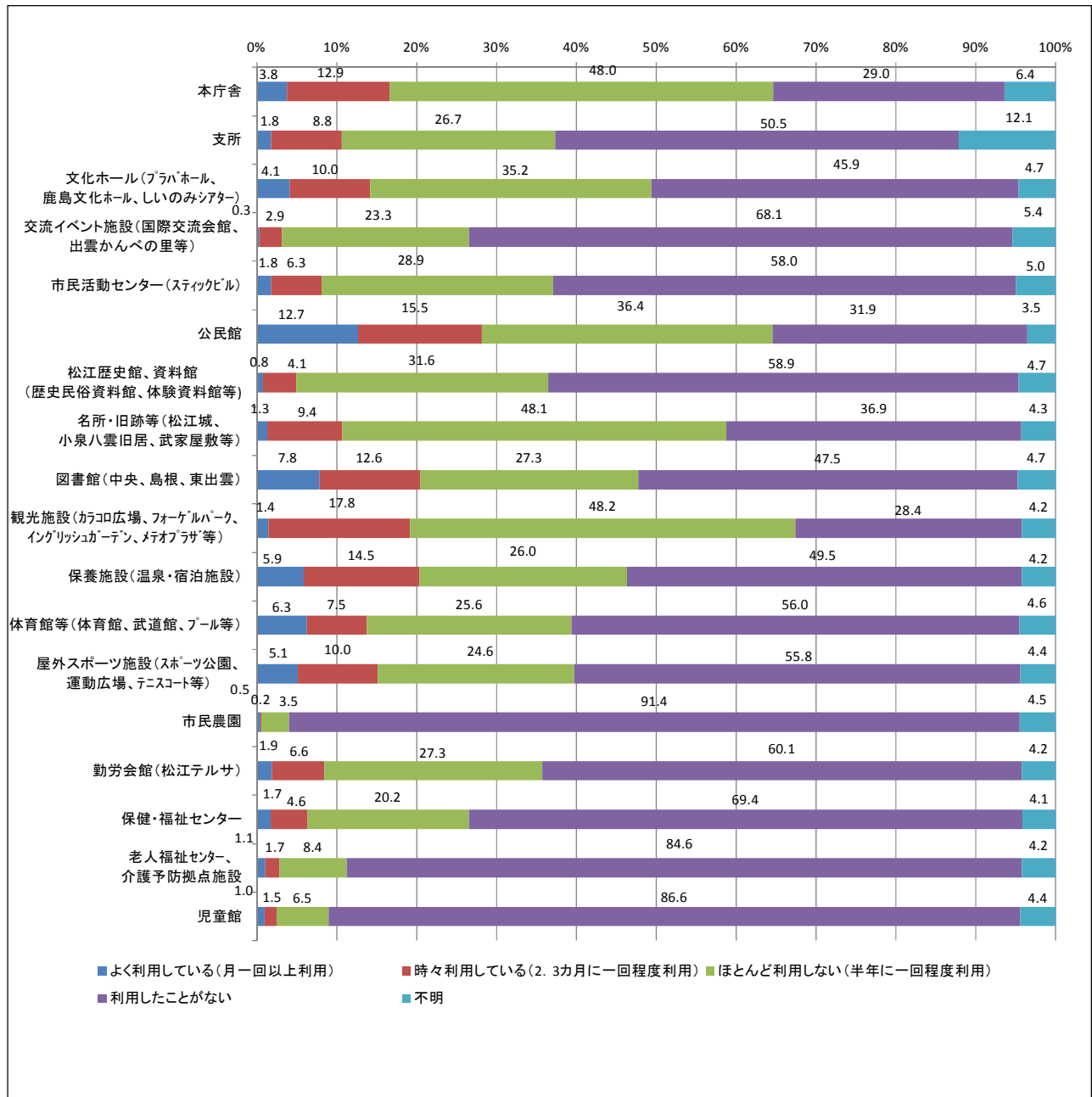
【『松江市公共施設白書』（平成25年7月に公表）を、あなたはご存じでしたか？】



【あなた（ご自身）は市の公共施設（※）をどのくらい利用していますか。数字を1つ〇で囲んでください。】※不特定の市民が自由に利用する施設を対象としています。

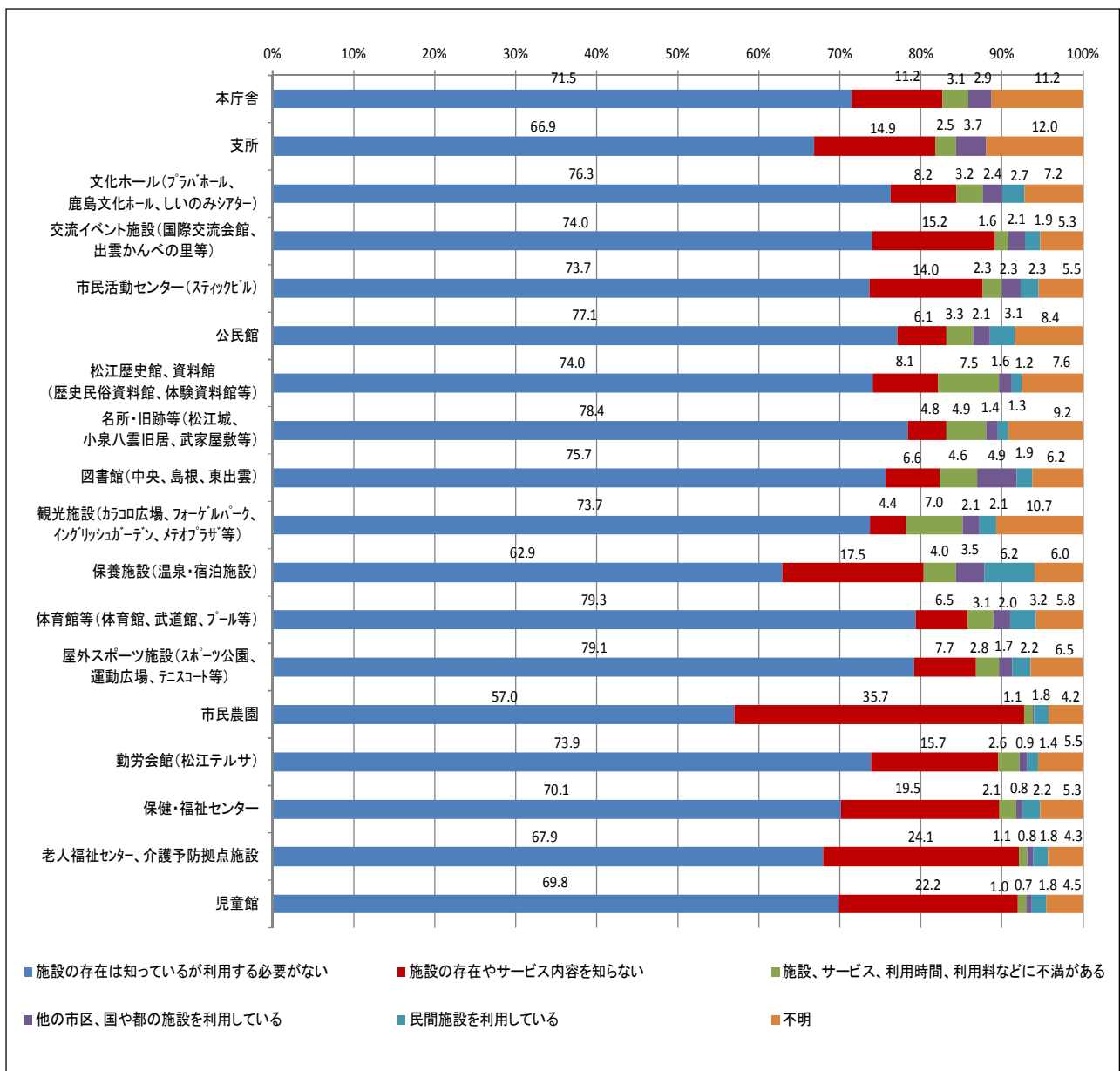
○ 利用頻度が低い方の割合（「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答）は、すべての施設で約7～9割となっている。

○ 利用頻度が高い方の割合（「よく利用している」または「時々利用している」と回答）は、公民館が28.2%と最も高くなっている。



【前問で、「2. ほとんど利用しない」「1. 利用したことがない」と回答された方にお聞きします。その理由は主にどのようなことでしょうか。数字を1つ〇で囲んでください。】

- 「施設の存在は知っているが利用する必要がない」がすべての施設で約6～8割となっている。
- 「施設の存在やサービス内容を知らない」と回答した割合については、市民農園（35.7%）、老人福祉センター、介護予防拠点施設（24.1%）、児童館（22.2%）、保健福祉センター（19.5%）が高くなっている。一方、観光施設（4.4%）、名所・旧跡等（4.8%）、公民館（6.1%）、体育館等（6.5%）、図書館（6.6%）、野外スポーツ施設（7.7%）、松江歴史館、資料館（8.1%）、文化ホール（8.2%）が低くなっており、施設毎にばらつきが見受けられる。



【将来も安全で使い易い施設サービスを提供していくために、市では、保有する施設の統廃合や機能の複合化・多機能化（注）による「総床面積の削減」や「長寿命化」、「まちづくり」、「民間活力の活用」、「受益者負担の見直し」などの視点を踏まえて、以下の方策を検討しています。これら市の保有する施設全般に関する方策について、あなたはどのように思いますか。数字を1つ〇で囲んでください。】

【賛成・反対状況】

＜用語説明＞

- 1 賛成率：「積極的に実施すべき」、「どちらかと言えば実施すべき」の合計の割合。多数決の観点からの賛成、反対を示したもので、50%超なら賛成多数となる。
- 2 積極的賛成/反対比率：「積極的に実施すべき」を「実施すべきではない」で割った率。特に強い意志を持つ人だけを対象にその大きさを見たもので、1超なら積極的賛成多数、1未満なら積極的反対多数である（「どちらかといえば実施すべき」、「どちらかと言えば実施すべきでない」を除いた比率である。）。

- 『利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も高く評価されている。
- 一方、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も低く評価されている。

		賛成率（％）	積極的賛成／ 反対比率
賛成	利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。	93.7	30.2
	施設の更新（建替え）や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	79.2	5.4
	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化（注）によって施設数を減らす。	79.1	7.5
	施設を補強し長持ちするようにして（長寿命化）、しばらくの間建替えないでおく。	78.1	5.6
	近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。	73.5	3.3
中立	施設を減らす代わりに民間施設（会議室スポーツ施設等）の利用に対して助成する。	73.0	2.8
	地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。	57.5	1.5
反対	施設におけるサービスの水準を引き下げる。	36.3	0.6
	利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。	29.4	0.4
	特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。	23.6	0.1

賛成率＝（「積極的に実施すべき」＋「どちらかと言えば実施すべき」）÷全体

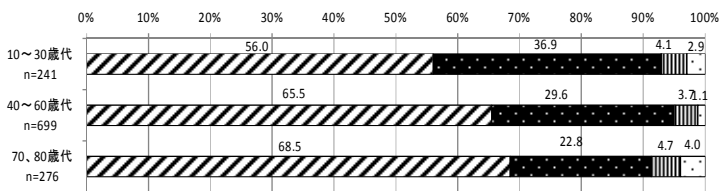
積極的賛成/反対比率＝「積極的に実施すべき」÷「実施すべきではない」

（注）不明を除いた結果である。

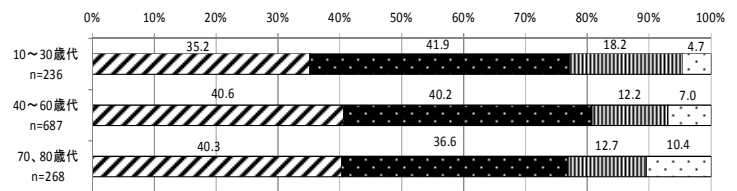
<参考：年齢階層別(3区分)の結果>

- 消極的賛成を含めた賛成（「積極的に実施すべき」または「どちらかと言えば実施すべき」と回答）の割合に着目すると、次を除き、年齢階層別で10.0ポイント未満の差に留まっている。
- 年齢階層別で10.0ポイント以上の差が出たものは、『施設を補強し長持ちするようにして(長寿命化)、しばらくの間建替えなくておく。(10～30歳代71.8%、70、80歳代83.9%)』、『利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。(10～30歳代22.4%、70、80歳代36.0%)』、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。(10～30歳代21.5%、40～60歳代20.8%、70、80歳代32.4%)』である。

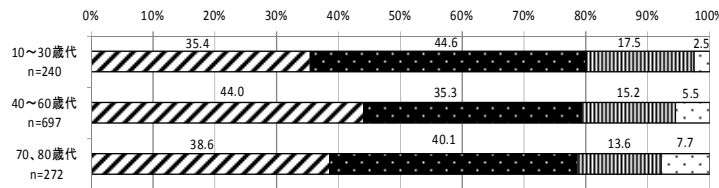
利用していない市の土地を売却・買戻し収入を得る。



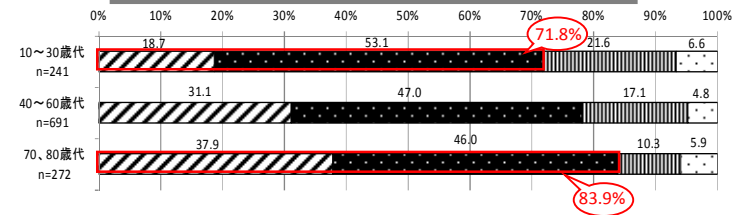
施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。



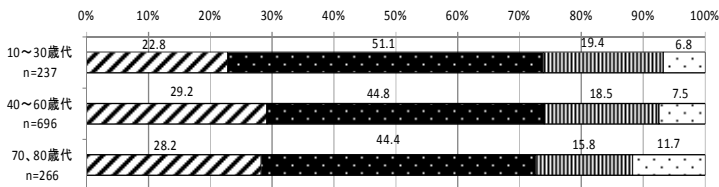
現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化(注)によって施設数を減らす。



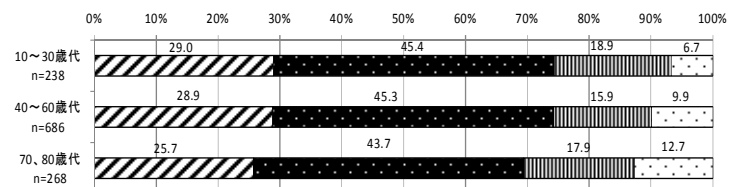
施設を補強し長持ちするようにして(長寿命化)、しばらくの間建替えなくておく。



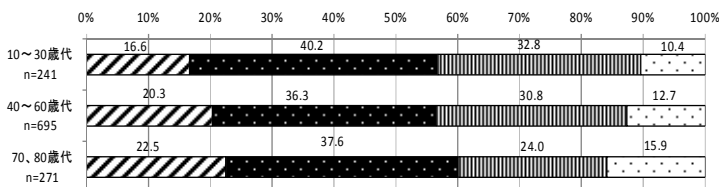
近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。



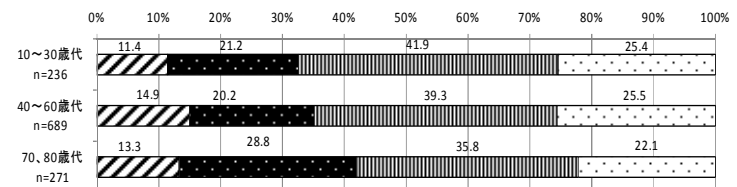
施設を減らす代わりに民間施設(会議室スポーツ施設等)の利用に対して助成する。



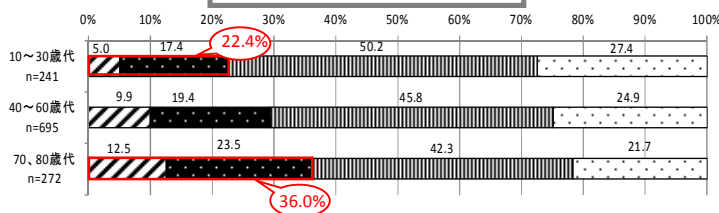
地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。



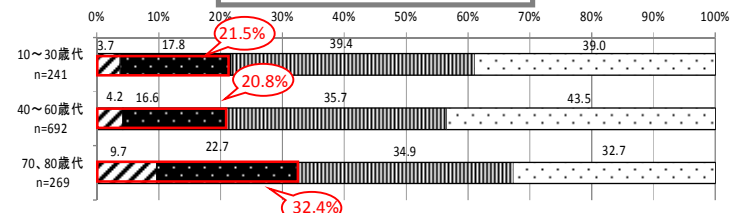
施設におけるサービスの水準を引き下げる。



利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。



特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。



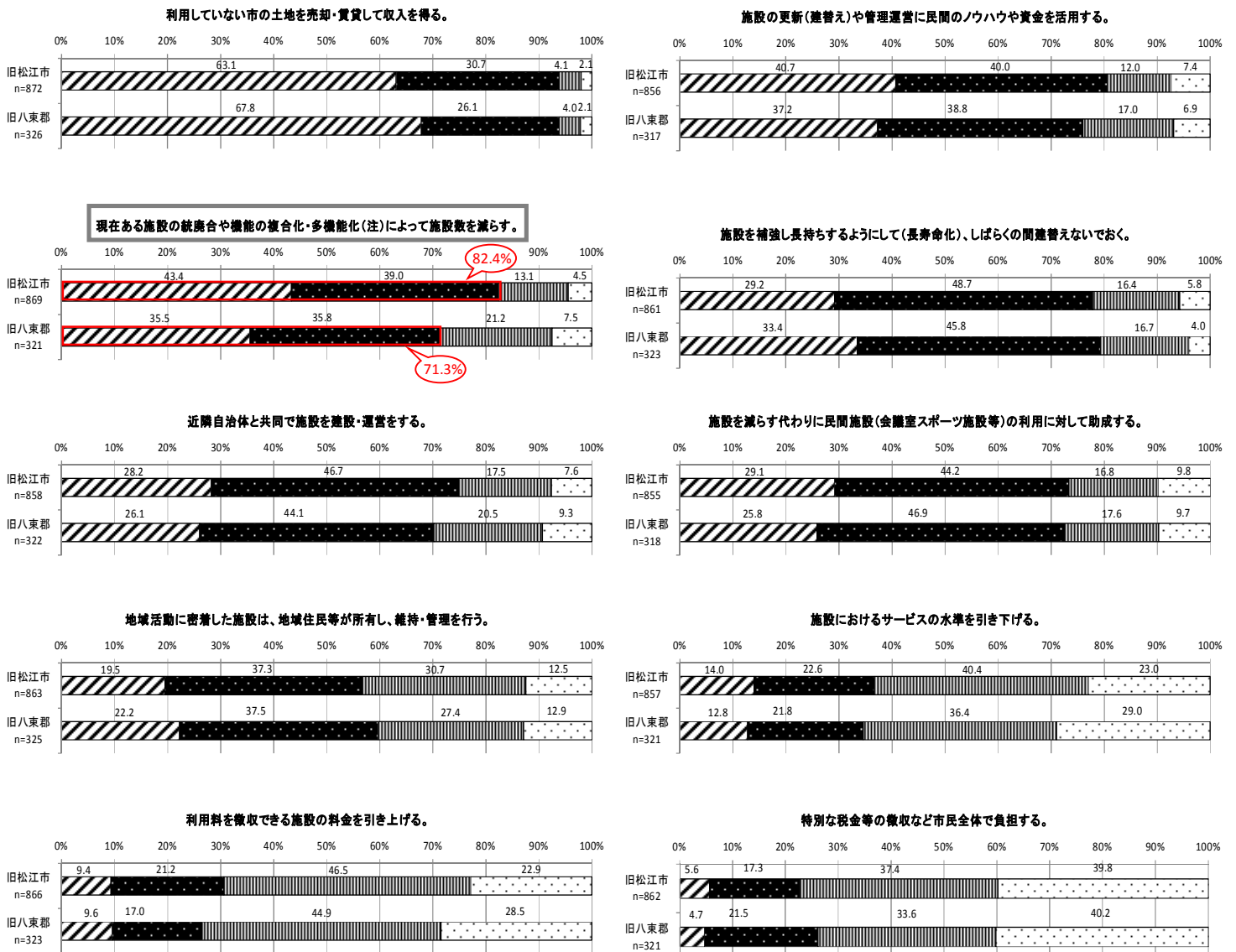
☑積極的に実施すべき ■どちらかと言えば実施すべき ☐どちらかと言えば実施すべきでない □実施すべきでない

<参考：居住地域別(2区分)の結果>

- 消極的賛成を含めた賛成（「積極的に実施すべき」または「どちらかと言えば実施すべき」と回答）の割合に着目すると、次を除き、居住地域別で10.0ポイント未満の差に留まっている。
- 居住地域別で10.0ポイント以上の差が出たものは、『現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化（注）によって施設数を減らす。（旧松江市82.4%、旧八束郡71.3%）』である。

（注）複合化：一つの施設に複数の機能を持たせること。

多機能化：そのときどきのニーズに合わせて機能を変えられるようにしておくこと。



□積極的に実施すべき ■どちらかと言えば実施すべき ▨どちらかと言えば実施すべきでない □実施すべきでない